

新元号の始まりの天空に 世界の平和と文化交流を祈念して

「こいのぼり」を揚げよう！

子どもたちといっしょに、子どもたちのために

令和元年 5月1日 水

13:30 ~ 15:00 雨天決行

万博記念公園 上の広場

「平和の鐘」付近 大阪府吹田市 千里万博公園 1-1



参加無料！いろいろなこいのぼりのワークショップ

- プログラム -

司会：橋高 邦子(きつたかくにこ) 元NHK 報道リポーター

13:30 開会式

和太鼓演奏「三宅太鼓」和太鼓教育研究所

13:40 「こいのぼり」ワークショップ

大小「こいのぼり」作成

「こいのぼり」くくり体験

ミニ「平和の鐘」撞き体験

小さい「こいのぼり」掲揚活動

*参加者の方は、「こいのぼり」作成の際に必要なマジック等の用具を持参して下さい。

14:40 「こいのぼり」掲揚式

和太鼓演奏「駿馬」和太鼓教育研究所

子どもたちの成長と平和の祈念

仕舞「田村」：能楽師 梅若基徳

大きい「令和こいのぼり」掲揚

岡本太郎作「KOINOBORI」掲揚

14:55 閉会式

16:30 「こいのぼり」降納

小さいこいのぼり
無料プレゼント！
(先着 150名様)

主催 グローバル文化シンボル「こいのぼり」協会 代表：中村 哲(桃山学院教育大学教授、和文化教育学会理事長) Mail: t-nakamura@andrew-edu.ac.jp

共催 和文化教育学会 日本の節句文化を継承する会 日本鯉のぼり協会 国連平和の鐘を守る会 NPO 法人和太鼓教育研究所

関西学院大学グローバル日本文化教育研究センター 一般財団法人日本伝統芸術文化財団

協力 関西舞台株式会社 門戸厄神地域活性化実行委員会

こどもたちといっしょに、こどもたちのために 「こいのぼり」を揚げよう！

日本の節句の伝統行事として毎年5月5日、こどもたちの成長を祈念するために掲揚する「鯉のぼり」があります。世界で最初に「鯉のぼり」が掲揚されたのは、ウィーン万国博覧会（1873年5月、日本庭園にて）でした。20年後に開催されたシカゴ万国博覧会（1893年5月、平等院鳳凰堂を模して建設された日本館にて）においても、日本と世界の国々との交流を意図して「鯉のぼり」が掲揚されました。

国際交流を推進してきた「鯉のぼり」活動は、1931年の南満州鉄道爆破事件を端にして戦争拡大が危惧された社会状況下の1934年、世界平和を掲げた「国際友好鯉のぼりの会」が設立され、平和を託し、もたちに「鯉のぼり」を贈る活動を行ってきました。

このように「鯉のぼり」活動は、日本の伝統行事という意味だけでなく、世界の平和と文化交流を祈念する役割をも担ってきました。1970年に開催された大阪万国博覧会においても、博覧会のシンボルである「太陽の塔」制作者の岡本太郎氏は、「鯉のぼりが悠々と、華やかな彩りで天空にひるがえっているなんて、世界に広げたい夢だ」として「鯉のぼり」のデザインをしました。「太陽の塔」横に日本万国博覧会記念協会によって掲揚ポールが設置され、「堺五月鯉幟」が掲揚されました。また、今回の「こいのぼり」活動の開催場所である「上の広場」には、1954年に世界平和の願いを込めて世界のコインで製作され、国際連合本部に寄贈された「平和の鐘」のレプリカが設置されています。

このような「こいのぼり」活動の経緯と文化意義を踏まえ、世界の平和と文化交流を祈念する「こいのぼり」を作成し、「こどもたちといっしょに、こどもたちのために」新元号の天空に掲揚します。



ウィーン万国博覧会（1873年）での掲揚鯉のぼり
©2013 Österreichische Akademie der Wissenschaften



国際友好鯉のぼりの会の贈呈鯉のぼり



岡本太郎作「KOINOBORI」



万博記念公園の「平和の鐘」

グローバル文化シンボル「こいのぼり」協会の「鯉のぼり」関連活動紹介



宮城県南三陸町での活動（平成23年5月5日）



関西学院大学での活動



関西学院大学での活動



関西学院大学での活動



関西学院大学での活動



六甲道南公園での活動



六甲道南公園での活動



六甲道南公園での活動



海外（上海）での活動



海外（パリ）での活動

プログラム協力団体等の紹介

和太鼓演奏：NPO 法人和太鼓教育研究所



『子ども・高齢者・障害者などを含む全ての人々に対して、和太鼓等邦楽器を使った各種事業を行うことにより、「文化の伝承」、「子どもの健全育成」、「健康で心豊かな生活づくり」等を図ること』を目的として活動。和太鼓というとても原始的なそしてとても奥深い楽器を子ども達の教育・保育目的に、さらに老若男女、障害のあるなしに関わらず全ての人々の「健康で心豊かな生活づくり」のためにどのように活用できるのかを研究・実践・修養する機関として活発に事業を展開中。

仕舞「田村」：梅若 基徳（うめわか もとのり） 能楽師 重要無形文化財総合指定保持者



中世より代々続く梅若家に生まれ、3歳で初舞台。関西を中心に国内外の公演に多数出演。2014年、米・メイフラワー号の奇跡を題材にした新曲「五月花」を創作し「ロサンゼルス名誉市民」を拝受。自ら代表理事を務める西宮能楽堂を拠点に、日本の伝統芸能の普及と次世代に繋ぐ公演やワークショップに力を注ぐ。他ジャンルの舞台芸術とのコラボレーションにも積極的に模索、世界に通じる演劇「能楽」の評価も高めていきたいと考える。

関西学院大学グローバル日本文化教育研究センター鯉のぼり活動紹介

鯉のぼり研究発表会

日時：2019年4月23日（火）12:50 開始
場所：関西学院大学教育学部「リブラ」
内容：鯉のぼり活動等の研究発表と和菓子の試食体験

鯉のぼり掲揚（予定）

期間：2019年4月22日（月）～2019年5月7日（火）
場所：関西学院大学教育学部5号館吹き抜け、教育学部4号館と5号館の通路
連絡先：関西学院大学教育学部 峯岸由治 Mail: minegisi@kwansei.ac.jp



主催 グローバル文化シンボル「こいのぼり」協会 代表：中村 哲（桃山学院教育大学教授、和文化教育学会理事長） Mail : t-nakamura@andrew-edu.ac.jp
当日連絡先 TEL : 090-3270-1198（森村）

共催 和文化教育学会 日本の節句文化を継承する会 日本鯉のぼり協会 国連平和の鐘を守る会 NPO 法人和太鼓教育研究所
関西学院大学グローバル日本文化教育研究センター 一般財団法人日本伝統芸術文化財団

協力 関西舞台株式会社 門戸神社地域活性化実行委員会